



かがちょう  
**赤い靴通信** No. 29-10

加賀町警察署  
生活安全課  
スクールサポーター  
平成29年10月

# 薬物乱用はダメ、ぜったい！

## ◎ 薬物乱用ってなに

薬物乱用とは、社会のルールからはずれた方法や目的で、薬物を使うことです。覚醒剤や、大麻、危険ドラッグなど法律で使用が禁止されている薬物は1回でも使用すれば乱用になります。

病気を治す医薬品を正しい目的や使用に反して使用することも乱用になります。1日1回なのに2回使用したり、1錠というのに2錠飲んだりすれば安全であるはずの薬は安全でなくなります。



覚醒

## ◎ 薬物を乱用するとどうなるの

☆ 見えない物が見えたり、聞こえない声や音が聞こえたり、臭わない物が臭ったりする幻覚に襲われたり、自分を誰かが殺そうとしているのではないかなど、ありもしない妄想などに苦しみ、普通の生活が出来なくなり、ついには生活が破たんします。

☆ 人間にとって最も大切な脳が委縮し、幻覚や妄想などの精神障害が起きたり、目、胃、肺、心臓、腎臓、肝臓など体の様々な器官に障害が起き、失明したり、肺がんになったりと、体に大変悪い影響があります。

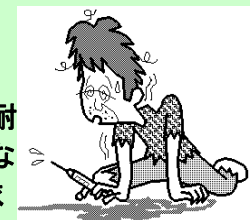
☆ 幻覚、妄想などの精神障害から、殺人、強盗、放火などの凶悪な犯罪を起こしたり、薬物の影響から正常な運転が出来ない状態で車を運転し、悲惨な交通事故を起こすなど、乱用者自身だけでなく、家族や社会にも悪い影響を及ぼします。



大麻

## ◎ 薬物乱用の悪循環

薬物には、使用しているうちに薬の効き目が悪くなり、使用する量が増えるという「耐性」と、薬の効果が切れた時の苦痛から逃れるために繰り返し薬物を使用するようになるという「依存性」があるため、薬物乱用者は自分の意思ではやめられなくなる薬物依存症となり、生活が破たんします。



心と身体が  
ポロポロに

※ 青少年が薬物を乱用すると、薬物乱用による悪影響は、成人が使用した場合に比べてはるかに大きく、成長期にある脳や身体の成長がストップしてしまい、健康な社会人としての生活が出来なくなります。

## ◎ 薬物乱用のきっかけは（気をつけよう甘い誘い）

残念なことに、未成年者の薬物乱用のきっかけの多くは、顔見知りの友人や先輩などからです。

- ・ 眠気が取れて勉強ができるよ。
- ・ スカッとするよ。元気が出るよ。
- ・ ダイエットに最高だよ。肌がきれいになるよ。
- ・ 試してみない。みんなやっているよ。
- ・ 俺を見てよ。なんともないだろ。

などと誘われても、きっぱりと断り、その場をすぐに離れましょう。



薬物乱用はあなたの  
人生を台無しに！

各種相談、照会、ご意見ご要望は、加賀町警察署 045(641)0110  
緊急性のある事件事故は、110番通報 をご利用下さい。